

NPOクラブ会員を募集しています！
NPOクラブは、あなたの地域づくりを応援し、あなたの団体をサポートします。
詳しくはお電話またはホームページでどうぞ。

●福祉施設 紹介・販売フェア「大きなテーブル」

普段なかなか知ることができない福祉施設の取組みや商品を紹介・販売する2日間。入場無料。お気軽にお立ち寄りください。みんなで地域づくりセンターでは、テーブルを囲んで楽しい交流の場を提供します。



日時:6月24日(金)25日(土)10:30~15:00
場所:四街道市文化センター展示ホール
(四街道駅より徒歩15分)

販売品目
・パン、ケーキ、お菓子・農産物
・織物、布製品・工芸品など
問合せ:四街道市みんなで地域づくりセンター
TEL 043-304-7065 FAX 043-422-7051
E-mail info@minnade.org URL http:minnade.org/
火-金 9:00-20:30、土 9:00-17:00
(休館日:日、月、祝日、年末年始)

●オレンジカフェおおなみなみ に
いらっしやいませんか。。

介護のたいへんさをひとりで抱えていませんか。
○認知症になったら
…病気を受け入れ、暮らし方を工夫する。
わかっていてもつい辛くあたってしまうことはありませんか。
○急に、家族に介護が必要になったら
…仕事や家事をどうするか。周囲に手伝ってくれる人がいなかったら。

あんしんケアセンターの職員や、同じように介護の不安を抱える人たちと、おしゃべりと情報交換をご一緒に。認知症当事者の方もご家族と一緒に、ご参加ください。

日時:6月28日~毎月第4火曜日 午後2:00~4:00
ご都合の良い時間にお越しください。
*あんしんケアセンター職員は午後3:00~4:00にいます。
会場:多世代交流拠点おおなみなみ (地図は表紙参照)
参加費:200円(飲み物つき)
主催:おおなみなみ、社協検見川地区部会
協力:あんしんケアセンター幕張
申込み・問合せ:おおなみなみ
TEL 070-2157-1673
火・金 10:00~17:00、水・木 13:00~17:00
E-mail ohnamikonami2014@gmail.com

●学習会「地域包括ケアについて
-先進自治体から学ぶ」

介護保険制度の改正により、生活支援・介護予防サービスが制度外となり、自治会・ボランティア・NPO・老人クラブ等の地域の組織・団体に委ねられることになりました。地域力、市民力を高めることが必要とされています。超高齢化のピークと言われる2025年に向けて、高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように、医療や介護の専門家や組織が連携して高齢者の暮らしを支える「地域包括ケアシステム」の推進が急がれます。

千葉県内で、一歩先行く自治体の取組み事例から学び合います。

日時:6月30日(木)14:30~16:30
場所:船橋市中央公民館第2集会室
報告自治体:流山市、鴨川市
対象:県内NPO、自治体職員、一般市民
参加費 500円(資料代)
主催 ちばNPO協議会(事務局:NPOクラブ)
申込み・問合せ先:NPOクラブ
TEL 043-303-1688
E-mail npo-club@par.odn.ne.jp



《編集・発行》

特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ) TEL 043-303-1688 FAX 043-303-1689
〒261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂 5-21-12 E-mail npo-club@par.odn.ne.jp URL http://npoclub.com/
団体会員 51団体 個人会員 100人 発行 1,000部 会員・県内市民活動センター・自治体等に送付しています。

特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)

定期総会および講演会のご案内

開催日:6月5日(日) 場所:多世代交流拠点「おおなみなみ」

<第1部> 14:00~15:00

第16回 NPOクラブ定期総会

2015年度事業報告・決算報告、2016年度事業計画・予算について話し合います。(傍聴もできます)

<第2部> 15:20~17:00 講演会

「東日本大震災から5年、広域避難者の現状と今後に向けて」

「NPOクラブは、どうして、この活動を始めたのですか?」とよく聞かれます。2011年3月11日、東日本大震災が起きた時、数時間後にテレビ放映された被災地の悲惨な状況まで予測できた人はいなかったでしょう。そして、多くの人が被災者、被災地の力になりたい、と思いました。直接、被災地に出かけ、泥かきに汗を流した人もたくさんいました。

「NPOクラブでできることは何か」…震災の年の夏に、関東に避難されている浪江町民の方の震災の時の様子とその後取材する業務の依頼がありました。「できることはやろう」と始めたことが今の事業につながっています。

家を離れ、全国に避難した人たち、皆一様にすぐに帰れると考えていました。しかし、震災から5年が過ぎた今も、福島県から千葉県内に避難している方は約3300名。仕事や住居を得るなどして、新たな生活に踏み出す人がいる一方で、慣れない暮らしに戸惑い、家にこもりがちになってしまっている人も少なくありません。

講演会では、当団体の活動報告の後、震災の翌年から当団体事務所に常駐している浪江町復興支援員と、福島県復興支援員の方から、それぞれの立場から、避難者支援の現状と今後に向けてご報告をいただきます。

内容:

1. NPOクラブで取組んでいる避難者支援活動から
2. 浪江町復興支援員の活動報告(浪江町復興支援員千葉県駐在)
3. 福島県復興支援員の活動報告(千葉県社会福祉協議会)

参加費:無料 定員:35名

対象:どなたでもご参加いただけます。

申込み・問合せ先:NPOクラブ TEL043-303-1688



2016年度の活動については次ページをご覧ください!



平成27年度福島県ふくしま帰還支援事業 記録写真集



[会場案内]
千葉市花見川区検見川町3丁目159-2
京成検見川駅から徒歩12分、JR新検見川徒歩15分

2016年度はこんな思いで活動をすすめます。

新年度になってすぐに熊本地震が発災、大きな被害をもたらしました。東日本大震災、福島第1原発事故から5年、いまだ避難者、被災地は復興には至っていない中、自然災害は時と地域を選ばず起きるものとあらためて心に刻みました。

NPO クラブは、NPO が安心して暮らせる地域づくりの担い手として、多くの人々と課題を共有し、参加を促し、活動の成果を分かち合えるように進めていきたいと考えています。

今年度主要な事業の背景、内容を紹介します。

- ◆ 特定非営利活動促進法の施行(1998年12月)から17年が経過、全国で50,000法人、千葉県内では1,900法人が設立、義務である事業報告書類の提出がされているのか、内容は適正に記載されているのか、実態調査を実施します。今後NPOが地域で信頼されて活躍するために、どのような課題があり、どのような支援が必要か、NPO クラブが行うべき支援プログラムの計画作成に活かします。
- ◆ 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業は7年目となり、地道に進めてきた地域づくりプログラムの成果が見えるようになり、他市からも注目されています。さらに具体的に地域づくりプログラムを企画し、多くの市民と進めていきます。
- ◆ 福島県の被災者、避難者のひとりひとりの生活への不安は深刻さを増しています。千葉県内の避難者支援活動は対象者が減少しても、最後まで継続することが必要なのではないかと考えています。また、浪江町復興支援員活動のサポート事業は、NPO法人せんだい・みやぎ NPO センター代表理事加藤哲夫さん(故人)のつながりで依頼された「浪江のこころ通信」(町広報紙)の取材活動がきっかけでした。当初は、山形県、千葉県の2か所での事業でしたが、全国10か所に広がり実施してきました。2016年度は数か所減少することになりますが、千葉では、千葉モデルとしてすすめていきます。
- ◆ 多世代交流拠点「おおなみこなみ」の運営は、1年半経過し、検見川町近隣地域の方々に理解され始めたところです。NPOクラブが地域づくりの現場を直接運営するのは初めての事業です。「居場所づくり」「子ども食堂」「ケアラズカフェ」等、県内でも様々な取り組みが始まっていますが、運営課題も明らかになりつつあります。「おおなみこなみ」では、地域の主体性をどう育てるかが課題となっており、地域の人たちの関わりを深め、定着できるように運営します。
- ◆ 平成27年11月から受託した富里市協働まちづくりコーディネーター育成業務では、市契約職員5名の研修事業に取組み、とみさと市民活動サポートセンターが3月にオープンしました。今年度はまちづくりコーディネーター育成業務として継続し、サポートセンター運営業務とおした研修で現場に出向きます。



【NPO クラブ スタッフ募集】 事業拡大に伴い団体管理業務のうち主に広報分野を担うスタッフを募集します。

- (1)職務内容:ホームページ、ブログ、Facebook ページ等の更新作業、ニュースレターの企画・編集業務、電話受付等
- (2)募集人数:スタッフ若干名 応募締切:6月10日(金)
- (3)応募対象:地域の課題解決の活動や、地域づくりの主体となる団体の活動に関心と理解を持つ人/電話の対応などについて、コミュニケーション力を持つ人/パソコンに関してWord、Excel、Eメール、パワーポイントなどのスキルのある人(採用後はブログ、Facebookなども活用)/千葉市および近隣に在住の方優先。
- (4)応募方法:履歴書、「応募の動機」とよび小論文 ※詳細はお尋ねください。(5)選考方法:書類審査および面接
- (6)勤務条件:勤務地:NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 勤務時間・勤務日数:月～金 9:00～17:00 週3日程度(相談に応じます) 待遇:時給850円、通勤手当(実費、上限1,000円/日)、労災保険・雇用保険加入
*四街道市みんなで地域づくりセンターのサポートスタッフも募集しています。詳細⇒<http://minnade.org>
- (7)応募・お問合せ先 特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)(担当 牧野、鍋嶋)
TEL 043-303-1688 E-mail npo-club@par.odn.ne.jp URL <http://npoclub.com/>

決算報告書は団体の顔 (*_*) です！

NPO 法人会計基準に則した会計報告で信用度アップを！



「NPO 法人のための決算報告書作成講座」を開催しました
開催日:2016.4.19(火) 13:30～16:30
会場:千葉市民会館 第5会議室
講師:加藤達郎税理士
千葉県税理士所属。加藤達郎税理士事務所所長。
NPOクラブ専門家相談ネットワーク部会長
NPO法人会計の相談経験が豊富

毎年、団体の総会前に合わせて開催する決算報告書作成講座は、今回20団体が参加。講座はテキストに沿ってNPO法人会計の原則等を学んだあと、精算書、活動計算書の穴埋め問題など実際に電卓をたたいて学びました。NPO法人が提出した事業報告書は、内閣府のホームページで閲覧することができ、法人の評価は事業報告書を閲覧する市民が行います。報告書の書き方によって閲覧者に与える印象も変わります。NPO法人会計基準に則した会計報告をして、団体の信用度アップにつなげたいところです。

講座ポイント紹介

(提出について)

- ・事業報告書等は、毎事業年度初めの3ヵ月以内に所轄庁に提出。3年以上未提出の場合は、NPO法人認証の取り消しがなされる。また、認定NPO法人を目指している団体は、期間内の届出は、必須で、未提出などあってはならない。
※事業報告書等:前事業年度の事業報告書、計算書類(活動計算書、貸借対照表)、財産目録、年間役員名簿、10人以上の社員名簿
- ・理事の変更がある時や、資産の変更(毎年)は、法務局へも書類(変更登記)を提出することになるが、こちらは滞ると罰金が発生することもあるので注意が必要。

(活動計算書について)

- ・平成24年改定NPO法では、計算書類として活動計算書及び貸借対照表を規定している。
- ・NPO法人会計基準では、財務諸表として活動計算書及び貸借対照表並びに財務諸表の注記としている。
- ・当初、NPO法では、計算書類として、収支計算書及び貸借対照表を規定。設立が古い団体の中には、いまだに収支計算書を出しているところがある。
- ・活動計算書では、費用を「事業費(定款で定めた事業の実施のために要する費用)」と「管理費(法人の運営管理のために要する費用)」に明確に区分し、それぞれに、人件費とその他経費を分けて表示する。

(帳簿について)

- ・現金出納帳や総勘定元帳など、一般的な帳簿を備えることに加え、会員管理台帳、受け取り寄付金一覧は、会費や寄付が重要な資金源となるNPOだから必要な帳簿となる。

<参加者アンケートより抜粋>

- ・今月末決算報告をするので、流れが理解できました。・活動計算書の注記についてわかりました。
- ・当会はNPO会計ソフトを利用しているため、なぜこの計算になっているのか学べました。
- ・活動計算書と収支計算書の違いが学べました。・詳細な資料をいただいたので、復習します。
- ・とにかく簿記に慣れていきたいと思います。再度、簿記練習の講座がありましたら受講したいです。
- ・必要なことが全てわかり、決算についての心配が無くなりました。

★NPOクラブでは、NPO法人に関する会計相談を受け付けています。電話・メールなどでお問合せください。
★会計処理は、毎日の記録と確認が大切です。金銭の出入りの仕分け、伝票付け、総勘定元帳への転記など、複式簿記での会計処理についての講座も、年度半ばに開催予定です。

